

別添資料 1 CMS機能要件

No.	カテゴリ	項目	内容
1	デザイン	統一性	全てのページに共通のヘッダー、フッター、グローバルナビゲーション等を設定し、統一したフォーマットで作成できること。
2		レスポンスデザイン	全てのページが、パソコンとスマートフォンの両方で適切に表示されること。
3		テンプレート	記者発表、入札、開札等用途に応じたテンプレートを使用できること。
4			ページデータと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで制御すること。
5			職員が、既存のテンプレートを修正したり、新規テンプレートを作成したりできること。
6		緊急トップページ	通常のトップページとは別に、大規模災害等の緊急時に、緊急時用のトップページに切替えて表示できること。
7		緊急情報	通常トップページに、緊急情報を配信するエリアを設けられること。このエリアは、表示／非表示を容易に切り替えられること。
8		ブラウザ	CMSで作成されるHTMLファイルは、Chrome、Safari、Edge、Firefoxの最新版で、レイアウトが著しく崩れないように表示できること。
9	コンテンツ作成	基本機能	すべてのページがCMSで管理できること。
10			フォルダ構造を分かりやすく表示できること。
11			権限を有するページのみを修正できること。
12			公開状況（公開中、非公開）やタイトル、ページID、タイトル等、様々な条件でページを検索できること。
13			一定時間無操作状態だった場合、警告の上、自動的にログアウトすること。ログアウトまでの時間は、管理者が設定できること。
14			コンテンツ作成時に、一時保存ができること。
15			ページ作成時に、タイトル、キーワード、カテゴリ等を設定できること。
16			ルールに従った範囲で、URLを設定できること。
17			ページの作成所属が自動で設定できること。
18			ページのレイアウト及びコンテンツは、コピーして再利用が可能であること。
19			作成したページに自動で管理用のページIDを付番できること。
20		コンテンツ入力	テンプレートを選択しページを作成することで、統一したデザインのページが作成できること。
21			Wordに近い操作性での入力、予め決められた項目に入力していくフォーム入力の両方に対応していること。
22			入力画面を拡大して編集できること。
23			フォーム入力では、CSV形式のファイル取込み及びCSV形式のファイル出力に対応していること。
24			同一ページを複数ユーザーが同時に更新できないこと。または更新しようすると警告が表示されること。
25		画像	画像やPDFファイル等をブラウザ上から容易にサーバにアップロードできること。
26			登録済みのサーバ内ディレクトリの画像一覧から選択可能であること。
27			アップロードする画像の容量に制限をかけられること。制限値については、管理者が設定できるか、保守の範囲内で受注者が設定変更できること。また、画像の大きさ（縦横）については、推奨サイズにリサイズして表示できること。
28			アップロードする画像の種類（拡張子）を制限できること。画像の種類については、管理者が設定できるか、保守の範囲内で受注者が設定変更できること。
29			アップロードした画像を、CMSの操作でトリミングやリサイズし、容量を減らせること。
30			画像にalt属性を設定できること。
31			画像を自由な位置に配置できること。また、画像に対するテキストの回り込み方を設定できること。
32		表	表を新規で作成できること。この際、行・列の追加及び結合、見出しセルの設定、枠線の設定、幅のパーセント設定等をHTMLソースを編集することなく設定できること。
33			Excelで作成した表をコピー＆ペーストにより取り込めること。その際、アプリケーション固有のタグが削除されること。
34			Excelから取り込んだ表を加工できること。この際、行・列の追加及び結合、見出しセルの設定、枠線の設定、幅のパーセント指定等をHTMLソースを編集することなく設定できること。
35			表を自由な位置に配置できること。
36		Word等からの取り込み	Word、Excelで作成した文書をコピー＆ペーストにより取り込めること。その際、アプリケーション固有のタグが削除されること。
37		添付ファイル	Word、Excel、PDFなどの添付ファイルの種類、容量、アイコンが自動的に表示されること。PDFの場合は、Adobeリーダーダウンロードサイトへのリンクが表示されること。
38			添付できるファイルの種類（拡張子）を制限できること。ファイルの種類は、管理者が設定できるか、保守の範囲内で受注者が設定変更できること。
39			添付ファイルをアップロードする際に任意の容量でチェック、制限ができること。容量に関する制限は、管理者が設定できること。
40		リンク	内部リンク及び外部リンクを容易な操作で設定できること。
41			外部リンクを設定する場合は、一定のルールに基づき、リンクの後ろに「外部リンク」などの文言が自動で挿入されること。ルールや文言は管理者が設定できること。
42			ページ単位でページ内のどの部分にリンク切れがあるか、チェックして表示できること。
43			サイトマップ・パンくずリストを自動生成すること。
44			所属や対象日を指定してリンク切れを一括チェックできること。または、夜間バッチ等で定期的にリンク切れのチェックを行えること。チェックの結果は、画面上で確認・修正できるか、もしくはCSV等の形式でファイル出力できること。
45		地図	ページ内に地図を掲載できること。
46			目的地の経度・緯度を入力すること等により、地図上にピンを立てられること。

47		アクセシビリティ	アクセシビリティのエラーは、エラー内容及びエラー箇所が分かる形で表示されること。
48			管理者が、使用禁止文字や使用禁止語句の設定を行えること。
49			職員が作成・修正したページについて、下記のJIS X 8341-3:2016非推奨の表示を自動修正する機能を有すること。コンテンツ内容によってはあえて表記する場合も想定できるため、変換確認画面などで変換・非変換が選択できること。 ・日付、時間等の統一変換 （例：2025/4/1→2025年4月1日、10:10→10時10分） ・全角英数字チェック及び半角英数字への変換 ・半角カナのチェック及び全角カナへの変換 ・機種依存文字のチェック及び変換（例：Ⅳ→4、株→（株）） ・全角スペースのチェック及び削除 ・その他、県にて指定する表記の変換ができること ・見出しの構造をチェックできること ・リンクテキストの文字列をチェックできること ・テーブルの構造、キャプションの指定の有無を目視でチェックできること
50		プレビュー	作成したコンテンツの公開イメージを、作成・承認の各段階で、公開前にプレビューできること。
51			コンテンツ作成時に、公開時と同じ状態でプレビューできること。プレビューページでリンクの状態をチェックできること。また、容易な操作で作成画面に戻れること。
52			PC画面・スマートフォン画面・色なしのプレビュー表示が行えること。
53		ページ生成	作成した全てのコンテンツのフッタにログインユーザーの担当所属情報（所属名・電話番号など）が自動的に記載されること。また、所属情報に変更されたときには、自動的に修正されること。
54			生成されるHTMLには、現在非推奨となっているタグや属性等が含まれないこと。
55			HTMLで使用する言語及び文字コードの宣言が自動的に設定されること。
56			ページ上部に最終更新日が自動入力されること。
57			各ページには作成所属、問合せ先が自動的に表示されること。
58			問合せ先は、変更・追加できること。
59			全てのトップページへ戻るリンクを設定すること。
60			各ページにグローバルナビゲーションを自動生成すること。
61			各ページにパンくずリストを自動生成すること。
62			パンくずリストはカテゴリ別もしくは所属別のどちらかに対応できること。
63			RSSが出力できること。
64			生成したページを印刷する際、横幅が切れないこと。
65		サイトマップ	サイトマップを自動生成できること。
66		バナー広告	複数の広告バナー及び事業PRバナーを表示管理（表示数・位置指定など）できること。指定した場所に、容易な操作で掲載できること。
67			管理者が管理、掲載、削除できること。
68			指定された公開期間で、自動的に掲載開始及び掲載終了を設定できること。
69			登録した1つのバナーをPC、スマートフォン両方の全てのページに掲載できること。
70			バナー広告ごとにアクセス数がカウントできること。
71			バナー広告のアクセス数は、期間（月または日）を指定してCSVファイルに出力できること。
72		カテゴリ管理	管理者が、カテゴリを追加、変更、削除できること。
73			作成済みのページを別のカテゴリに移せること。
74	承認・公開	承認フロー	ページの公開までに、少なくとも2段階（作成者と承認者）の確認フローを有すること。
75			承認ルートの設定、変更や追加は管理者が容易に行えること。承認ルートは複数設定できること。
76			承認依頼の差戻し時に、メールによる連絡を自動で行えること。
77			承認依頼の引き戻し機能があること。
78			承認画面で、ページのリンク先や添付ファイルの内容等も表示できること。
79			不在時等対応のため、承認者を複数設定でき、選択できること。
80			管理者は承認フローによらずページを公開できること。
81			公開するページを差し戻すことができるよう履歴管理ができること。
82			管理者はページの即時公開の権限を有すること。
83			公開期限が終了したページは、リンクされたファイルも含めてウェブサーバから自動的に削除されること。
84			公開指定した時間から、15分以内にページが公開されること。
85			公開が終了したページは、非公開ページとしてCMSサーバ上に残し、複製や再利用ができること。
86	管理機能	ユーザ管理	ID・パスワード認証によるログインを行い、複数ユーザーが同時にログインすることが可能であること。
87			ユーザーアカウントにより作成できるページの権限を振り分けられること。
88			ユーザー権限に応じた画面が表示されること。
89			ユーザーアカウントの登録・更新等は、ユーザー情報登録画面からも行えること。
90			ユーザーが属する部局及び課室等をIDと紐づけて管理できること。
91		組織管理	組織情報（部局、課室等）の管理ができること。
92			CSV形式の組織情報のCMSへの取り込み、CSV形式での出力が可能であること。
93			組織情報の更新に対応して、ページ管理所属の付け替えが可能であること。その際、ページに表示される担当所属や問合せ先も自動で更新されること。
94			特定のページの更新権限を、別の所属へ移譲・共有することができること。
95		権限管理	管理者、承認者、作成者の権限を設け、その権限により操作できる機能を制限できること。
96			管理者は、ユーザーへの権限設定、アカウントの付与ができること。
97		ページ管理	ヘッダ、フッタなど、サイトの共通部分の変更は委託事業者及び管理者のみが行えること。
98			ページの状況を一元管理でき、問題のあるページ（例：リンク切れ、孤立、アクセシビリティ違反、公開終了間際等）を容易に確認し、修正できること。

99			管理者が、テンプレートを登録、変更及び削除できること。
100			同一サイト内のどこからもリンクされていないファイルが抽出できること。また削除できること。
101			公開が終了したページは、自動で非公開にされること。
102		マスター管理	組織マスター、職員マスター等、システムを運用する上で必要なマスター情報を修正できること。
103			マスター情報は、画面による修正及び外部ファイルを用いた一括修正ができること。
104		操作ログ管理	操作履歴（いつ、だれが、どのページに対して、何をしたのか）を一定期間蓄積し、管理者が検索及び閲覧できること。また、期間等を指定してファイルに出力できること。
105	付加機能	アクセシビリティ	公開される全てのページに文字拡大機能を有すること。
106			公開される全てのページに文字色・背景色変更機能を有すること。
107			公開される全てのページにふりがな付加機能を有すること。
108			公開される全てのページに読み上げ機能を有すること。
109		二次元バーコード	ページごとに二次元バーコードを生成できること。生成後、ページURLが変更になった場合も、二次元バーコードを修正することなく使用できること。
110		SNS連携	SmartNewsとの連携機能（県ホームページの情報がSmartNewsに掲載される）を有すること。
111		サイト内検索	全文検索機能を有するサイト内検索機能を導入すること。
112			よく利用される検索条件の統計情報を取得できること。
113		アクセス解析	サイト内ページのページビュー数の計測が行えること。
114			各種統計情報を分析しやすい形式で出力できること。
115		カレンダー機能	イベント情報のページにリンクが設定されたイベントカレンダーが自動生成でき、各所属が入力したイベント情報を月ごとに表示できること。
116			ページ作成時に、イベントカレンダーへの掲載の有無を用意に設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。
117			定期的なイベント開催などの場合、一度のページ作成で複数の日付を設定しカレンダーに表示できること。
118			カレンダーに掲載されている内容を、キーワード、カテゴリ、対象者、開催地域、日付等で検索できること。
119		アンケート機能	アンケートの作成、実施、集計がHTMLの専門知識を持たない職員でも行えること。また、アンケート画面に表示する項目を任意に設定可能であること。
120			チェックボックス、セレクトボックス、ラジオボタンなどを用いて自由な項目を追加できること。
121			SSL/TLSに対応したアンケートフォームであること。
122			特定の編集者のみからアンケートを集計できるように、IDとパスワードによる認証機能を備え、必要に応じ利用できること。
123			アンケート結果はCSV形式等でダウンロードでき、管理可能であること。
124			Chrome、Safari、Edge、Firefox等、シェアの高い複数のブラウザで動作すること。
125		オープンデータ	データをオープンデータとして管理する機能を有すること。
126			データをオープンデータとして搭載するか職員が選択できること。
127		その他	CMSを使用せずに作成したhtmlとそれに紐づく画像や文書ファイル等をアップロードして管理、公開ができること。また、公開日時及び公開終了日時を設定できること。